

平成 30 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 APAMAN株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大村 浩次
 (JASDAQ・コード8889)
 問 合 せ 先 管理本部副本部長 高田 雅弘
 T E L 03-3231-8020

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 1 月 11 日に発表いたしました平成 30 年 9 月期(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)の業績予想につきまして、通期の予想を修正いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 30 年 9 月期通期 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,500	2,600	2,100	800	44.94
今回発表予想(B)	41,600	1,600	800	△1,100	-
増減額 (B-A)	1,100	△1,000	△1,300	△1,900	
増減率 (%)	2.7%	△38.5%	△61.9%	-	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 9 月期)	40,262	2,556	2,017	1,300	76.83

2. 修正の理由

売上高につきましては、主に、平成 30 年 5 月 18 日付「当社連結子会社による株式会社プレストサービスの株式の取得(孫会社化)に関するお知らせ」にてお知らせいたしました、株式会社プレストサービスの売上高(平成 30 年 7 月から平成 30 年 9 月まで)の増加により 1,100 百万円増加の 41,600 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、主に、Sharing economy 事業及び Platform 事業の拡大に向けた先行投資に加え、Sharing economy 事業において見込んでおりました、営業目的有価証券の売却が実現しなかったことにより、1,000 百万円減少の 1,600 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、上記要因に加え、持分法による投資損失の増加により、1,300 百万円減少の 800 百万円となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記要因に加え、主に、その他事業における資産の収益性の低下に伴う減損損失約 200 百万円の発生、見込んでおりました投資有価証券の売却が実現しなかったことによる減少、また連結子会社の業績の状況等を考慮し、今後の税効果スケジュールを慎重に見直した結果、繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額が約 200 百万円発生し、1,900 百万円減少の△1,100 百万円となる見込みです。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日時時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により、上記に記載した予想数値と大きく異なる可能性がある点にご留意ください。

以上